

大牟田市社会教育振興プラン
2020～2023

大牟田市教育委員会

目 次

1. はじめに	1
2. 大牟田市社会教育振興プランの位置づけと期間	2
3. 基本方針	3
4. 基本施策	3
5. 基本施策に係る成果指標	3
6. 社会教育・生涯学習を推進するための施策の体系	4
7. 大牟田市がすすめているESDと 「持続可能な開発目標（SDGs）」の視点	5
8. 施策推進の視点と具体的な取組み	6
視点1 次世代を担う子どもをはぐくむ	6
視点2 ESDを通じた、人づくり、つながりづくり、地域づくり	9
視点3 学習環境の整備・充実	12
9. 事業の成果指標一覧	14
10. 進捗管理	16

1. はじめに

本市の人口は、昭和 34 年をピークに減少の一途をたどっており、令和 2 年以降は、0～14 歳の年少人口、15～64 歳までの生産年齢人口及び 65 歳以上の老年人口の全ての年齢区分で減少に入り、人口減少がさらに加速することが予想されています（平成 28 年 3 月策定「大牟田市人口ビジョン」）。

平成 23 年からの人口推移をみると、特に生産年齢人口の減少が著しく、中でも義務教育課程が修了した 15 歳の人口は、平成 29 年に 1,000 人を割り、翌年の平成 30 年には、18 歳の人口も 1,000 人以下となっています（いずれも住民基本台帳）。社会動態についても、高校卒業後には約 20%が市外に流出している状況です。

また、出生者数や出生率が減少する一方で、高齢化率については、平成 30 年 10 月で 35.9%と、福岡県や全国と比較しても約 8～9 ポイント高くなっています。

このような人口減少に伴い、本市においては、まちづくりの担い手の不足や高齢化が急速に進行しており、地域活動の中心的な組織である校区まちづくり協議会においては、担い手の発掘や育成に関する課題が大きくなっています。

そのような中、平成 30 年 12 月の中央教育審議会の答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策」では、社会教育について、「今後、人口減少等社会の大きな変化の中にあって、住民の主体的な参画による持続可能な社会づくり、地域づくりに向けて、社会教育はこれまで以上に役割を果たすことが期待される」とともに、誰もが生涯にわたり必要な学習を行い、その成果を個人の生活や地域での活動に活かすことができる生涯学習社会実現への取組みが求められています。

そこで、本市では、持続可能なまちを目指すにあたり、社会教育・生涯学習が果たすべき役割とその方向性を探るため、平成 30 年度から令和元年度にかけて、社会教育・生涯学習基礎調査研究（以下「基礎調査研究」という。）を実施しました。

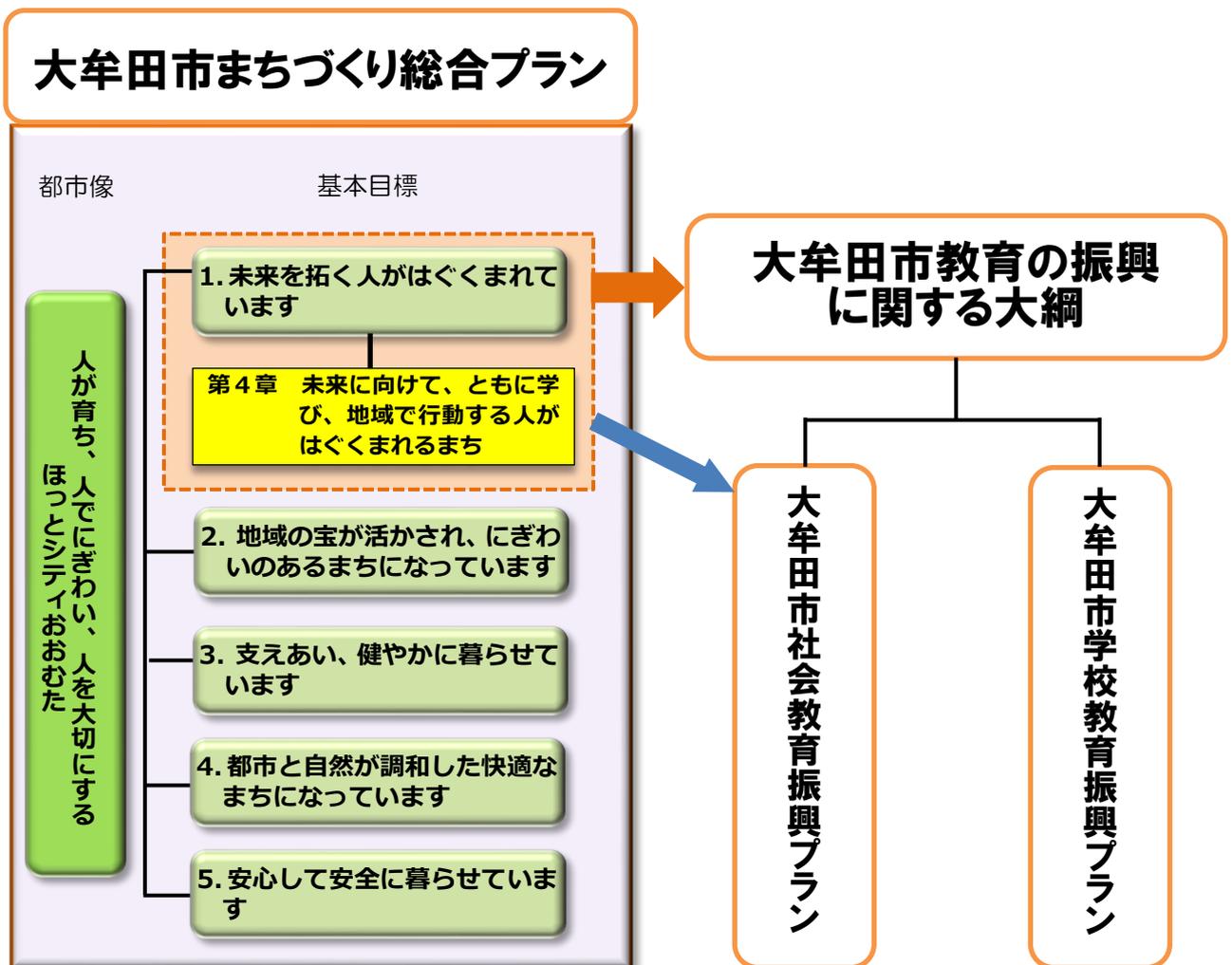
その結果、人口減少の中においても持続可能な社会の構築のためには、それを支える人づくりが最重要課題であると考え、将来のまちづくりの担い手である子どもたちを地域や社会全体で育てることをこれからの社会教育施策の中心に据えることとし、本市社会教育の基本施策や基本方針を定めた「大牟田市社会教育振興プラン 2020～2023」（以下「本プラン」という。）を策定することとしました。

2. 大牟田市社会教育振興プランの位置づけと期間

本市では、令和2年度から5年度までの本市のまちづくりの指針となる総合計画「大牟田市まちづくり総合プラン」（以下「総合計画」という。）を策定するとともに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の定めるところにより、令和2年度から5年度までの本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱である「大牟田市教育の振興に関する大綱」を策定しました。本プランは、これらと整合性を図りながら策定し、令和2年度から5年度までの今後4年間を見据え、目指すべき社会教育・生涯学習の方向性を明確にするるとともに、その実現のために取り組んでいく具体的な施策を示しています。

なお、個別の計画等が策定されている以下の事項については、本プランによらず、それぞれの計画等により推進するものとします。

- (1) スポーツに関すること 「大牟田市スポーツ振興計画」
- (2) 文化芸術に関すること 「大牟田市文化芸術振興プラン」
- (3) 人権・同和教育に関すること 「第2次大牟田市人権教育・啓発基本計画」



3. 基本方針

次世代を担う子どもたちを中心に、ともに学び、考え、行動する人がはぐくまれるまちを目指します。

そのため、子どもたちの人間性、社会性、郷土愛などを地域や社会全体ではぐくむとともに、全世代にわたり、社会の課題を身近な問題ととらえ、地域での「つながり」や「関係性」を大切にすることをはぐくみ、持続可能な地域づくりを進めます。

4. 基本施策

「未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち」の実現を基本施策として位置付けます。

5. 基本施策に係る成果指標

(1) 将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生等の割合

①目標値

令和5年度 90.0%

②指標の根拠

次世代を担う人づくり事業（高校生等対象）に参加した高校生等について、参加したことによって、将来、大牟田のために役に立ちたいと思った者がどの程度いるかによって測ります。

具体的には、事業に参加した高校生等へのアンケート調査を行うこととします。

(2) 地域の課題解決に向けて、自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合

①目標値

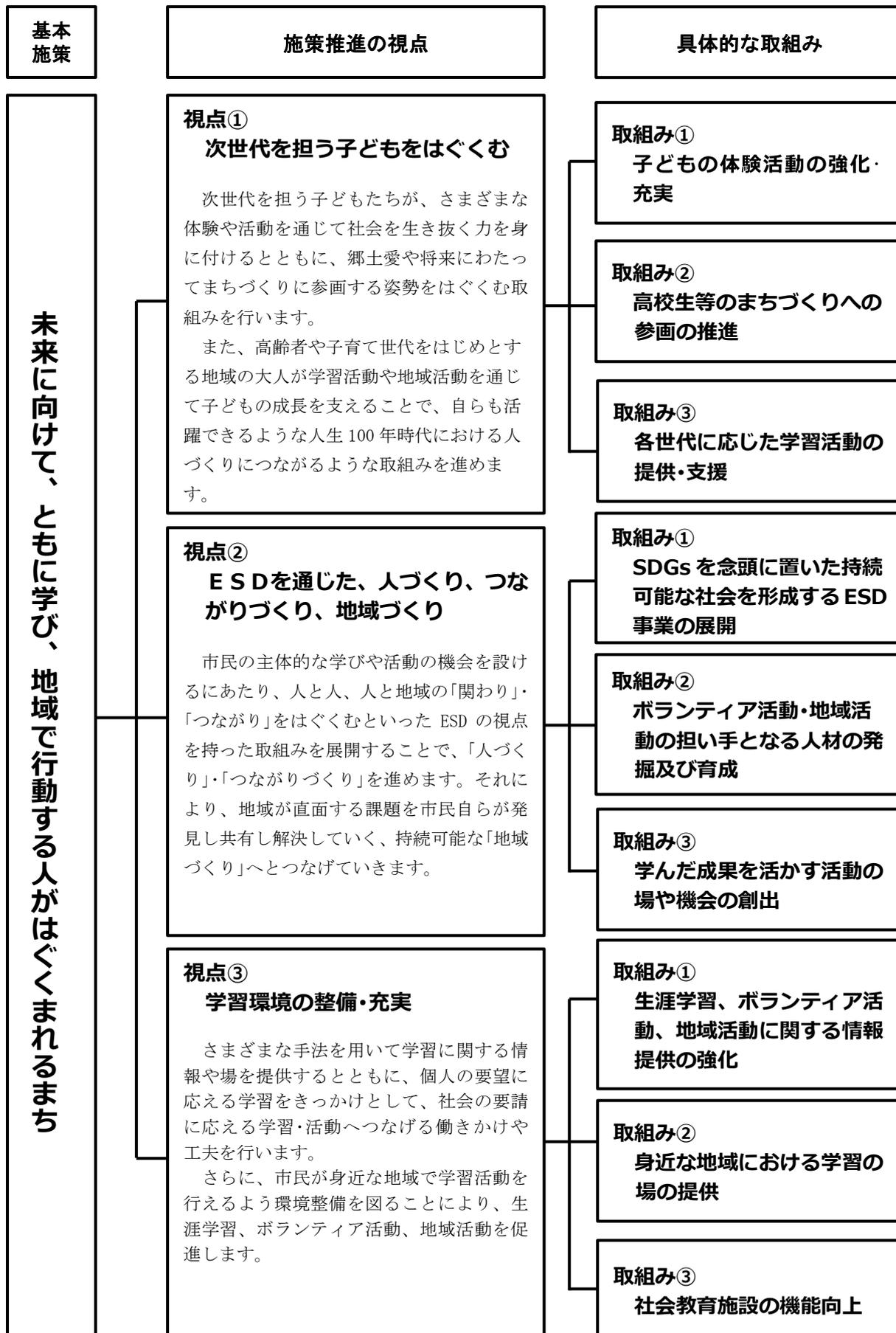
令和5年度 50.0%

②指標の根拠

地域の課題を自分のこととしてとらえ、解決に向けて、主体的・自発的に活動する意欲がある市民がどの程度いるかによって測ります。

具体的には、市が重点的に取り組む施策について、定期的（年1回）に実施している「まちづくり市民アンケート」に質問事項を設けます。

6. 社会教育・生涯学習を推進するための施策の体系



7. 大牟田市がすすめているESDと「持続可能な開発目標（SDGs）」の視点

大牟田市では全ての市立学校が2012年1月にユネスコスクールの認定を受け、学校や地域の実態に合わせて、持続可能な開発のための教育（ESD）を行っています。学校と地域などが連携協力し、市をあげて「ESD」を進めています。

また、2015年9月にアメリカ合衆国・ニューヨークで実施された国連サミットにおいて、150か国以上の首脳に参加により「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、ここに「持続可能な開発目標（SDGs）」が掲げられました。これは、発展途上国のみならず先進国自身も取り組む2016年から2030年までの国際目標で、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットからなり、このうち目標4は、「質の高い教育の提供」に関するものです（文部科学省「ESD（持続可能な開発のための教育）推進の手引」（改訂版）から引用）。また、国連では、「ESDはSDGsの17の目標全てを達成するための鍵である。」ともいわれており、ESDの提唱国である日本でESDを充実していくことがますます重要になっています。

2019年7月には、大牟田市は内閣府の「SDGs未来都市」に選定され、市ではこれを機にますますSDGsとESDを推進していくこととしています。

本プランでは、社会教育・生涯学習を推進するための具体的な取組みごとに、SDGsを定め、その達成に向けて取り組みます。



8. 施策推進の視点と具体的な取組み

視点1 次世代を担う子どもをはぐくむ

次世代を担う子どもたちが、さまざまな体験や活動を通じて、社会を生き抜く力を身につけるとともに、郷土愛や将来にわたってまちづくりに参画する姿勢をはぐくむ取組みを行います。また、高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が学習活動を通じて子どもの成長を支えることで、自らも活躍できるような人生100年時代における人づくりへつながるような取組みを進めます。

【取組み1】 子どもの体験活動の強化・充実

子どもが、実社会(郷土)に実際に触れ、人とのつながりや交流を体験することは、主体的に考え行動できる力の向上につながります。また、地域の歴史や伝統・文化を知り、その意味や価値を理解することで郷土への愛着や誇りを醸成することができます。このため、義務教育課程が修了するまでの子どもを対象とした、体験活動の強化・充実を図ります。



〈主な事業〉

事業名	内容
子ども交流体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	<p>義務教育課程が修了する15歳までの子どもを対象に、家庭や学校、地域の様々な人と関わり、いろいろな体験・交流を通じて、人間性、社会性、郷土愛を育む事業を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども交流・体験講座の実施 ○様々な職業につく人が子どもに向けての体験談やエールを送る「子ども未来デッサン事業」の実施 ○通学合宿や子どもの居場所への支援 ○障害のある子どもと、障害のない子どもがボランティアと交流を通じて、体験活動を行う「交流教育地域推進事業ふれあい共室」の実施
子どもの読書推進事業	<p>子ども読書推進計画に基づく事業として、幼児期から本のある環境づくり、絵本を通じた親子で楽しむ環境づくりに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新生児に絵本の配布等を行うブックスタートの実施 ○子ども読書推進にかかる啓発
子どもの体力向上事業	<p>幼少期からスポーツを実施することの重要性を伝えスポーツの恒常性を図るため、親子で参加でき子どもが運動・スポーツを好きになるようにセミナーを開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○親子運動セミナーの開催

事業名	内容
スポーツ少年団育成委託事業	<p>スポーツ少年団員の体力・健康の現状を把握しその増進を図るとともに、各少年団相互の親善と友情を深めるための事業を実施します。また、スポーツ少年団の加入促進を図るため機関紙を作成し普及促進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体力テストやスポーツ少年団同士の交流事業の実施 ○少年団育成普及のための広報事業の支援
わくわくシティ基金事業	<p>スポーツ、文化を通じて、青少年の人材育成を図る事業への助成等を行います。</p>
文化芸術体験を通じた子ども・若者育成事業	<p>子ども・若者の感性を磨き、豊かな人間性をはぐくむため、文化芸術の鑑賞、体験の機会を提供します。</p>
文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業	<p>子どもや地域の大人を対象としたワークショップなどを行い、多様性を認め合う地域づくりやまちの魅力の向上を目指します。</p>

【取組み2】 高校生等のまちづくりへの参画

高校生等の若者が、多くの人とひとつのことをやり遂げることは、仲間意識や達成感、郷土をより良いまちへ変えていこうとする姿勢の確立等につながります。また、まちに貢献する気持ち、継続した地域づくりや社会参加への意識についても育まれることが期待できることから、高校生等がまちづくりに関わり参画しやすい仕組みづくりを推進していきます。

さらに、このような取組みを通して、地域の魅力や地域を構成する団体・企業等、さらにはそこで活躍する人々の思いを知る機会を設け、将来的なUターンや定住促進を目指します。



〈主な事業〉

事業名	内容
高校生まちづくり体験事業（次世代を担う人づくり事業）（新）	<p>高校生を中心とした概ね 18 歳までの若者が、自ら企画・実施する郷土愛につながるまちづくり体験事業を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高校生まちづくり体験事業（ふるさと発見ウォーク、高校生総合発表会等） ○地区公民館における高校生等自ら企画・実施する取組み
文化芸術体験を通じた子ども・若者育成事業【再掲】	<p>子ども・若者の感性を磨き、豊かな人間性をはぐくむため、文化芸術の鑑賞、体験の機会を提供します。</p>

【取組み3】 各世代に応じた学習機会の提供・支援

アクティブシニア層や子育て世代をはじめ、各世代を対象とした学習活動や子どもに関わる取組みを通じて、子どもの成長を支えるとともに、各世代の大人自らも活躍できるような人づくりへとつなげていきます。



〈主な事業〉

事業名	内容
各世代に応じた学習活動支援事業	<p>各世代に応じた学習機会を提供し、郷土愛の醸成やまちづくりへの参画の意識を育みます。また、学んだ成果を活かし、子どもと関わる機会を設けることで、個人の成長はもとより、子どもたちの成長を促します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の生きがいや社会参加を促進する講座の実施 ○一般成人を対象とした講座の実施 ○大人が学んだ成果を活かし、子どもの成長を促す講座の実施 ○大牟田市子ども会育成者連絡協議会及びPTA連合会活動等への支援
家庭教育支援事業	<p>子育て情報や家庭教育に関する学習機会の提供、保護者同士のつながり支援、各関係機関との連携・情報との共有等、地域全体での子育て支援の環境づくりを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発達段階に応じた子育て講座の実施 ○子育てふれあい広場の開設 ○子育て情報誌『おおむたっ子』の発行

視点2

ESDを通じた、人づくり、つながりづくり、地域づくり

市民の主体的な学びや活動の機会を設けるにあたり、人と人、人と地域、地域と地域の「関わり」「つながり」をはぐくむといった ESD の視点を持った取組みを展開することで、「人づくり」「つながりづくり」を進めます。

それにより、地域が直面する課題を市民自らが発見し共有し解決していく、持続可能な「地域づくり」へつなげていきます。

【取組み1】 SDGs を念頭に置いた持続可能な社会を形成する ESD 事業の展開

市民の主体的な学びや活動の機会を設けるにあたり、人間性を育てることや、「関わり」「つながり」をつくることができるようになることといった ESD の視点を持った取組みを展開し、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」を進めます。

また、ESD の視点を持った取組みを進めるにあたっては、SDGs を念頭に置くとともに、市立の小・中・特別支援学校、高等学校等で行われている ESD を支援します。



〈主な事業〉

事業名	内容
地域 ESD 推進事業(新)	地域課題の解決に結びつくような学習活動や地域の伝統文化を次世代に継承する取組み、地域コミュニティの形成、人材発掘・人材育成につながる取組みなどを地区公民館はもとより校区コミュニティセンターや各学校等の身近な地域で行います。
学校 ESD 支援事業(新)	市立学校で行われている ESD の取組みのうち、地域の支援が必要な取組みについて、地区公民館が地域とのコーディネートを行うもので、地区公民館が学校のニーズを把握し、ニーズに応じた地域との調整や必要な支援を行います。

【取組み2】 ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成

地区公民館で実施する事業等をきっかけにして自主学習グループを発足・育成するとともに、学んだ成果をボランティア活動、地域活動に活かしていく意識の醸成を図ります。また、高校生や子育て世代といった若い世代のボランティア活動へのきっかけづくりの場を創出します。

ボランティア活動を行っている(行いたい)市民や団体に対しては、生涯学習ボランティアへの登録を促し、ボランティア活動の機会の提供を行います。



〈主な事業〉

事業名	内容
人材育成・地域活動促進事業	<p>学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出を地区公民館・校区コミュニティセンターや各学校など身近な地域で行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地区公民館サークルの社会参加の促進 ○視聴覚ボランティアの支援 ○地域団体連携・支援事業の実施 ○高齢者の生きがいや社会参加を促進する講座の実施【再掲】
高校生まちづくり体験事業（次世代を担う人づくり事業）（新）【再掲】	<p>高校生を中心とした概ね18歳までの若者が、自ら企画・実施する郷土愛につながるまちづくり体験事業を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高校生まちづくり体験事業（ふるさと発見ウォーク、高校生総合発表会等） ○地区公民館における高校生等自ら企画・実施する取組み

【取組み3】 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出

地区公民館の講座等における生涯学習ボランティアの活動の場の提供など、学習の成果を地域での活動に活かすとともに、新たな課題の解決のためにさらなる学習活動へとつなげる「学びと活動の循環」を推進します。

また、地区公民館の文化祭を通じて、地区公民館で活動するサークルが自分たちの学んだ成果を発表する場や機会を創出し、まちづくりへ参画する意識の醸成を図ります。



〈主な事業〉

事業名	内容
学習成果活動促進事業	<p>市民が学んだ成果を地区公民館はもとより、地域や学校で活かすための取組みを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地区公民館文化祭の実施 ○サークル社会参加促進事業 ○地域・若者による公民館ロビー等を活用したアート事業の実施 ○様々な職業につく人が子どもに向けてエールを送る「子ども未来デッサン事業の実施【再掲】
生涯学習ボランティア登録派遣事業	<p>様々な経験や学習によって、培われた知識や技能を、社会のために活かそうとする人を「ボランティア登録者」として登録し、その登録者を活用したい団体などに派遣する事業を行います。</p>

視点3

学習環境の整備・充実

さまざまな手法を用いて学習に関する情報や活動の場を提供するとともに、個人の要望に応える学習をきっかけとして、社会の要請に応える学習・活動へつなげる働きかけや工夫を行います。さらに、市民が身近な地域で学習活動が行えるよう環境整備を図ることにより、生涯学習、ボランティア活動、地域活動を促進します。

【取組み1】 生涯学習、ボランティア活動、地域活動に関する情報提供の強化

生涯学習の意義についての社会的な認知度を高め、学習活動・地域活動・ボランティア活動を促すための工夫を施すとともに、学習・活動に関する情報提供の強化を行っていきます。

特に若い年代においては、学習情報を市のホームページやSNSで得ている割合が高いことから、インターネットを活用し、さらなる情報発信に取り組んでいきます。



〈主な事業〉

事業名	内容
学習情報提供事業	<p>市内で行われる各種講座、イベント、サークルの会員募集等に関する情報収集を行い、それらの情報を広く市民に周知するための学習情報誌を定期的に発行します。また、地区公民館の事業等を掲載した情報誌(公民館だより・図書だより等)を、地域住民に向けて定期的に発行します。</p> <p>このほか、学習活動を行っていない人やあらゆる世代に学習情報が届くよう、紙面だけでなく、Facebook、メール配信システム「愛情ねっと」、コミュニティ放送局「FM たんと」等、多様な媒体を活用して様々な学習に関する情報提供していきます。特にインターネットやSNSを活用したPRを行うため、学習情報の動画配信に取り組みます。</p>

【取組み2】 身近な地域における学習の場の提供

地区公民館等の社会教育施設はもとより、学習可能な施設、さらには校区コミュニティセンター等の施設を積極的に活用していくとともに、社会教育関係職員自らが地域に出向き関係団体等と連携を図りながら、講座等を展開するなどより身近でかつ多様な学習・活動の場を設けます。



〈主な事業〉

事業名	内容
多様な学習機会提供事業	市職員が市民のもとへ出向き市政についての講義・実習等を行う「メニューいろいろまちづくり出前講座」や企業が持つ専門的な知識・技能を市民のもとへ出向いて講義・説明等を行う「企業出前講座」等の取組みを推進します。 また、インターネットを活用した出前講座の動画配信を行います。
地域 ESD 推進事業(新) 【再掲】	地域課題の解決に結びつくような学習活動や地域の伝統文化を次世代に継承する取組み、地域コミュニティの形成、人材発掘・人材育成につながる取組みなどを地区公民館はもとより校区コミュニティセンターや各学校等の身近な地域で行います。

【取組み3】 社会教育施設の機能向上

社会教育関係職員のファシリテーション力、コミュニケーション力、聴く力、企画立案力、実行力を高めるための研修の充実を図っていきます。

また、地区公民館はもとより町内公民館や校区コミュニティセンター等の施設の安全及び快適な機能の維持のため、このような施設の適切な管理、機能等の確保に努めていきます。



〈主な事業〉

事業名	内容
社会教育機能向上事業	社会教育関係職員が「人と人」、「人と団体」、「団体と団体」等を結ぶ役割を果たせるよう、ファシリテーション力やコミュニケーション力をはじめとしたスキルを高める研修を行い、職員の資質の向上を図ります。 ○社会教育関係及び公民館職員研修の実施
地区公民館等整備事業	施設の適切な管理、機能の確保に努め、施設の長寿命化を図ります。 ○各地区公民館等の維持補修、設備更新

9. 事業の成果指標一覧

No	事業名	所管課	成果指標等			
			指標名	単位	R5 目標値 R1 現状値	目標値設置の根拠
[視点1] 次世代を担う子どもをはぐくむ						
【取組1】 子どもの体験活動の強化・充実						
1	子ども交流体験事業（次世代を担う人づくり事業）	生涯学習課 地域コミュニティ推進課	引き続き活動したいと思った児童等の割合	%	50 -	参加者の半数が体験活動を引き続き行うことを目標とする
2	子どもの読書推進事業	生涯学習課	12歳以下の住民基本台帳人口1人あたりの児童図書 の平均貸出冊数	冊	15.8 14.3	現状値の1割増を目標とする
3	子どもの体力向上事業	スポーツ推進室	事業終了から半年後に運動・スポーツを週1回以上継続して実施している子どもの割合	%	100 100	すべての子どもが継続してスポーツを実施することが必要であるため
4	スポーツ少年団育成委託事業	スポーツ推進室	小学生数に占めるスポーツ少年団員数の割合	%	13.0 12.0	H28～H30の平均値（12.4）をR2年度の目標値に設定。毎年度0.2ポイントの増加を見込む
5	わくわくシティ基金事業	生涯学習課 スポーツ推進室	スポーツ・文化の振興を通じた青少年育成事業への助成件数	件	2 1	1年にスポーツ関係に1件、文化関係に1件
6	文化芸術体験を通じた子ども・若者育成事業	生涯学習課	大牟田への愛着が以前より深まった参加者の割合	%	80 -	約80%の若者が「将来大牟田に住みたいと思う」又は「わからない」と回答したことを参考にして設定した。
7	文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業	生涯学習課	参加者の理解度	%	90 -	目的に合致した取組みが進められたかを参加者のアンケート回答内容により判断
【取組み2】 高校生等のまちづくりへの参画						
8	高校生まちづくり体験事業（次世代を担う人づくり事業）（新）	生涯学習課 地域コミュニティ推進課	参画した高校の数	校	8 -	市内の高校・高等専門学校全校の参画
9	文化芸術体験を通じた子ども・若者育成事業【再掲】	生涯学習課	【再掲：視点1 取組1 No.6 参照】			

No	事業名	所管課	成果指標等			
			指標名	単位	R5 目標値 R1 現状値	目標値設置の根拠
【取組み 3】各世代に応じた学習機会の提供・支援						
10	各世代に応じた学習活動支援事業	地域コミュニティ推進課 生涯学習課	各事業の参加者（講師等含む）が学んだ成果を活かすことができた割合	%	90 -	目的に合致した取組みが進められたかを参加者のアンケート回答内容により判断
11	家庭教育支援事業	地域コミュニティ推進課 生涯学習課	就学前子育て講座の出席率	%	85.0 83.2	現状の参加率以上を目指す
【視点 2】ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり						
【取組み 1】SDGsを念頭に置いた持続可能な社会を形成するESD事業の展開						
1	地域 ESD 推進事業（新）	地域コミュニティ推進課	参加者の地域活動への参加意欲の増加	%	90 -	目的に合致した取組みが進められたかを参加者のアンケート回答内容により判断
2	学校 ESD 支援事業（新）	地域コミュニティ推進課	支援を行った小・中・特別支援学校の数	校	10 -	小学校 7 校、中学校 特別支援学校 3 校
【取組み 2】ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成						
3	人材育成・地域活動促進事業費	地域コミュニティ推進課	年度末までに講座等から発足した新規の地区公民館サークル数	団体	15 -	各地区公民館（7 館）の講座において、2 団体以上が発足することを想定
4	高校生まちづくり体験事業（次世代を担う人づくり事業）（新）【再掲】	生涯学習課 地域コミュニティ推進課	【再掲：視点 1 取組 2 No. 8 参照】			
【取組み 3】学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出						
5	学習成果活動促進事業	地域コミュニティ推進課	各地区公民館におけるサークル・地域団体、学校の作品展示等の事業数	件	15 -	地区公民館文化祭 7 回と他の団体・サークル・学校等の作品展示等 8 回
6	生涯学習ボランティア登録派遣事業	生涯学習課	生涯学習ボランティア延べ登録者数	人	1,630 1,570	年間 15 人の増加を目指す
【視点 3】学習環境の整備・充実						
【取組み 1】生涯学習、ボランティア活動、地域活動に関する情報提供の強化						
1	学習情報提供事業	生涯学習課 地域コミュニティ推進課	愛情ねっと・大牟田ちよんどうよ課への「学習・講座」情報の掲載件数	件	252 210	現状値から年間 5% 増を目指す

No	事業名	所管課	成果指標等			
			指標名	単位	R5 目標値 R1 現状値	目標値設置の根拠
【取組み 2】身近な地域における学習の場の提供						
2	多様な学習機会提供事業	生涯学習課	インターネットを活用した学習コンテンツの配信数	件	12 -	年間3本を配信
3	地域 ESD 推進事業（新）【再掲】	地域コミュニティ推進課	【再掲：視点 2 取組み 1 No. 1 参照】			
【取組み 3】社会教育施設の機能向上						
4	社会教育機能向上事業	地域コミュニティ推進課	研修参加者で研修で得たものを事業に活かしたいと答えた延べ職員の割合	%	100 -	目的に合致した取組みが進められたかを、参加者のアンケート回答内容により判断
5	地区公民館等整備事業	地域コミュニティ推進課 生涯学習課	当該年度に予定していた施設修繕の実施率	%	100 100	計画的に施設修繕を行っていくことにより設定

※ 新規事業以外で成果指標の R1 現状値が「-」であるものは、事業体系の見直し・再編を行ったため、現状値がないもの。

10. 進捗管理

本プランの進捗管理に当たっては、総合計画の推進との整合性を図りながら、毎年度、成果指標等の達成状況等について検証を行っていきます。

具体的には、行政評価（総合計画の進捗管理）等により、本プランの進捗管理を行います。